（様式１）

# 観光社会資本の事例

| テーマ | 沼津港の眺望を活かした賑わい創出への取り組み |
|---|---|

## 【施設の状況写真】

富士山を背後に仰ぎ、眼前に駿河湾が広がる沼津港は、全国有数の水揚げを誇る魚市場を有すると共に、西伊豆方面への海の玄関口としても賑わっている。

沼津港航路水門「びゅうお」は、東海地震などで想定される津波から市民を守るために建設された。水門には展望回廊が併設されその眺望の良さから、多数の方が訪れている。

## 【施設の利用写真】

“びゅうお”は平成１６年９月にオープンし、その眺望を楽しみに多数の観光客が訪れており、平成１７年５月には利用者数１０万人を突破した。また、港周辺には多数の飲食店が店を構え、賑わいを見せている。

沼津港は西伊豆方面への海の玄関口となっており、戸田、土肥を結ぶ定期航路が発着している。

## 【観光資源としての利用状況】

駿河湾の湾奥に位置する沼津港の背後には富士山がそびえ、目の前には駿河湾が広がっています。そして、全国有数の水揚げを誇る魚市場を有すると共に、西伊豆方面への海の玄関口としても賑わっています。

平成８年から津波対策のために開始された海岸（高潮）事業による水門整備に併せて、沼津市事業による展望施設が併設され、平成１６年９月に完成しました。

水門の愛称は一般公募により「びゅうお」と名付けられ、展望室から見える３６０度の眺望を楽しみに多数の観光客が訪れており、平成１７年５月には利用客数が１０万人を突破しました。

「びゅうお」は沼津港の新たなランドマークとして、また市民の生命と財産を守る施設として期待されています。

（様式２）

| テーマ | 沼津港の眺望を活かした賑わい創出への取り組み |
|---|---|

【社会資本の基礎データ】

○名称　沼津港

○所在地　静岡県沼津市

○事業名　沼津港海岸（高潮）整備事業

○事業主体　静岡県

○事業期間　平成８年度～

【社会資本の役割・効果】

○ 防護

沼津港の背後は約５０ｈａの低地盤帯には商店街や民家が密集し、約９，０００人の方々の生活基盤となっています。

そのため、近い将来発生が危惧されている東海地震等による津波から人命・財産を守るため、沼津港においては海岸（高潮）整備事業を実施しており、水門（びゅうお）をはじめとした海岸保全施設の整備が現在も進められています。

水門の扉体は幅４０m、高さ９．３m、重量は４０６ｔと日本最大級の施設です。

○ 展望施設

水門に併設された展望回廊からは富士山、南アルプス、箱根連山、駿河湾など、３６０度の眺望を楽しむことができ、沼津港における貴重な観光資源としても利用されております。

【位置図】

現地への交通手段

・JR沼津駅（東海道線）南口からバス約１０分

（伊豆箱根バス、沼津登山東海バス）

・東名高速道路・沼津ICから３０分

【関連ホームページ】沼津市役所ＨＰ　http://www.city.numazu.shizuoka.jp/index.htm

沼津観光協会ＨＰ　http://www.numazu-mirai.com